

# 企画県土警察常任委員会資料

(平成22年6月1日)

## 【その他報告事項】

- 1 平城遷都1300年祭参加事業～”万葉有終の郷(さと)・鳥取情報発信”  
【文化政策課】 . . . 1ページ
- 2 上海国際博覧会・鳥取県イベントステージ参加概要  
【文化政策課】 . . . 3ページ
- 3 第15回北東アジア地域国際交流・協力地方政府サミットの結果  
【交流推進課】 . . . 7ページ

文化観光局

# 平城遷都 1300 年祭参加事業～“万葉有終の郷（さと）・鳥取情報発信”

平成22年6月1日

文化政策課

## 1 目的

鳥取自動車道の開通により、関西圏域からの交通アクセスが大幅に向上することから、万葉集最後の歌の故地・鳥取を“万葉有終の郷（さと）”として情報発信し、観光客増加に結びつけるため、奈良県で開催中の平城遷都1300年祭「平城宮跡会場」（奈良市）に出展・出演する。

## 2 事業の概要

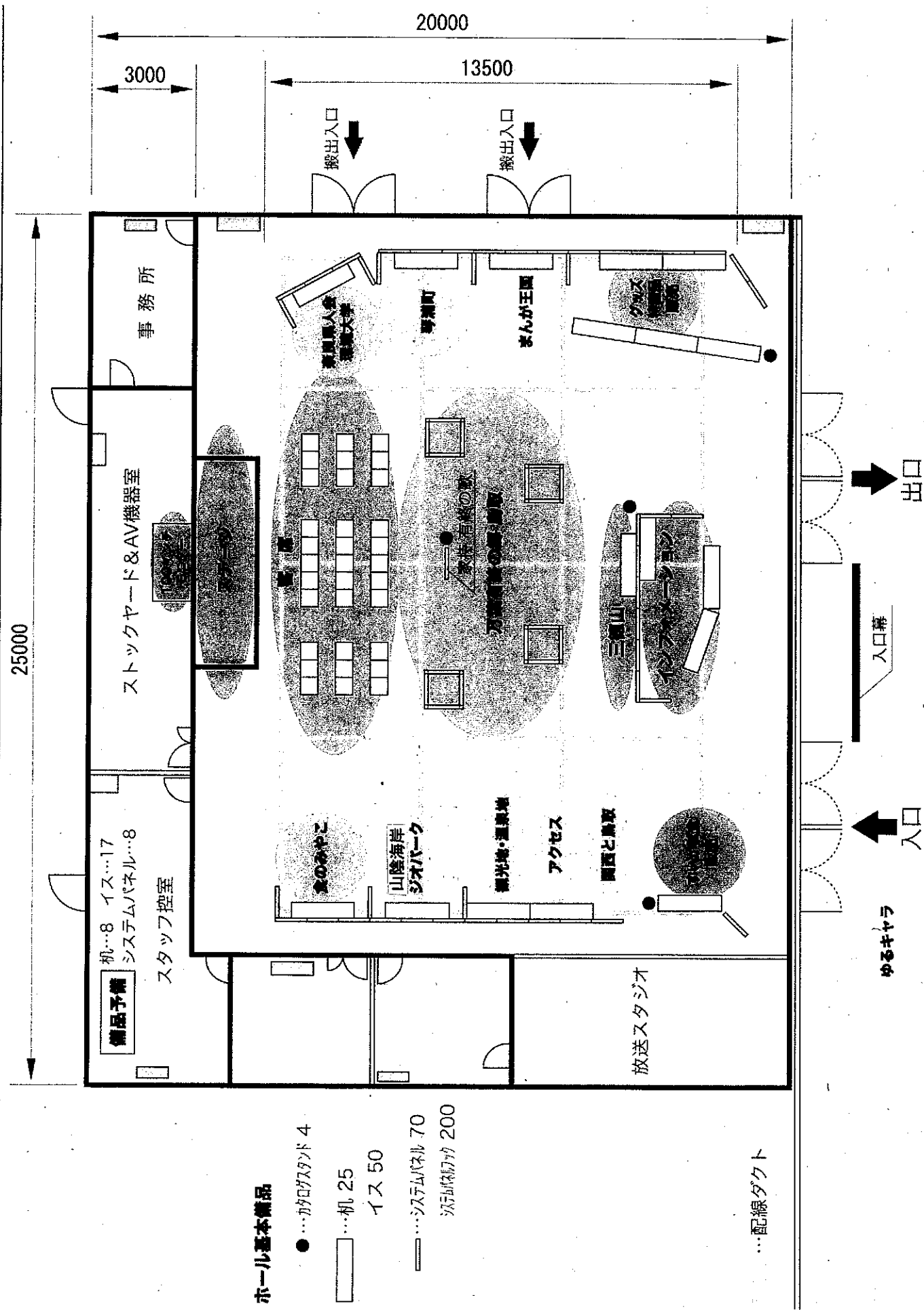
### (1) 平城遷都 1300 年祭の概要

会期等	「平城宮跡会場」（奈良市：メイン会場） 4月24日～11月7日 (その他に奈良県内各地で各種イベントを通年実施)
出展施設等の概要	(交流ホール) 展示面積365㎡。小ステージ、映像・音響等設備あり。 (まほろばステージ) 観客席270席。屋外立ち見含め最大1,000人鑑賞可能。

### (2) 鳥取県の出展・出演概要 (予定)

テーマ	“万葉有終の郷・鳥取”の魅力をお届けします！
期間	(交流ホール) 平成22年6月27日(日)・28日(月) 終日 (まほろばステージ) 平成22年6月27日(日) 10:30～14:45
内容(案)	<p>①交流ホールでの展示</p> <p>都(関西)から下向した2人の国司、大伴家持(因幡)、山上憶良(伯耆)の足跡をたどる形で、以下の展示内容を紹介します。</p> <p>(ア) 万葉有終の郷・鳥取</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・大伴家持の紹介(家持年表、家系図、家持の句等)</li> <li>・鳥取ゆかりの歌人、句の紹介(山上憶良や在原行平等の紹介と句)</li> <li>・遺跡等の紹介(因幡国庁跡、岡益石堂、中部遺跡)</li> <li>・万葉有終の郷PR番組(本県出身音楽デュオ、門藤(かどふじ)出演)の上映等</li> </ul> <p>(イ) 関西と鳥取のつながり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・後醍醐天皇、名和長年、南朝(吉野)</li> <li>・グレーター近畿</li> <li>・アクセス…鳥取自動車道、智頭急行</li> </ul> <p>(ウ) 鳥取県のPR</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・山陰海岸ジオパーク</li> <li>・食のみやこ鳥取…鳥取スイカの試食</li> <li>・まんが王国とっとり</li> <li>・古事記に伝わる神話の里・鳥取(『因幡の白兔』、白兔神社、八上姫等)</li> <li>・温泉などの観光情報等</li> </ul> <p>(エ) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グッズ・物産品の販売</li> <li>・琴浦町が参加し、斎尾廃寺など観光をPR</li> <li>・奈良県人会による展示</li> </ul> <p>②まほろばステージへの出演</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県内の和洋楽器奏者による『浦富八景』『INABA MANYOU NO UTA』の演奏</li> <li>・奈良鳥取県人会と鳥取環境大学による「しゅんしゅん傘踊り」</li> <li>・白鳳太鼓(琴浦町)の演奏</li> <li>・トリピー等キャラクターの出演</li> </ul>

交流ホール 各コーナー



ホール基本備品

- …カロガスタンド 4
- …机 25
- イス 50
- …システムパネル 70
- 汎用機カク 200

…配線ダクト

上海国際博覧会・鳥取県イベントステージ参加概要

平成22年6月1日  
文化政策課

5月1日から10月31日までを期間として現在中国上海で開催されている上海国際博覧会において、日本政府が出展する日本館イベントステージに鳥取県として参加し、「まんが王国とっとり」をはじめとする鳥取県の魅力を広くアピールするため、文化・観光・産業等の様々な面で鳥取の情報発信を行い、広く鳥取県をPRします。

- 1 出展期間  
平成22年8月19日（木）～22日（日）  
※ただし、19日（木）は映像放映、パネル展示のみ
- 2 出展場所  
上海万博会場内 日本館イベントステージ
- 3 集客目標  
30,000人（1日あたり約10,000人）
- 4 出展内容
  - (1) ステージイベント（前田兄弟のフレアカクテルショー、鬼太郎とトリピーによるクイズゲーム大会、倉農太鼓、鳥取市鈴の音大使によるしゃんしゃん傘踊り、中国交流地域（吉林省・河北省）伝統芸能団体）
  - (2) 展示コーナー（山陰海岸ジオパーク・まんが王国・食のみやこ・鳥取の産業・中国交流地域との交流・遠山正瑛氏の功績検証のパネルの展示）
  - (3) 体験コーナー（「ケケゲの鬼太郎」「名探偵コナン」にちなんだまんが王国クイズラリー、グラウンドゴルフ大会、和紙折り紙教室）
  - (4) 映像放映（鳥取県の観光情報等）
- 5 関係部局と連携した取り組み
  - (1) 上海国際博覧会・鳥取県イベントステージ参加事業

区分	文化観光局（局内連携実施）		
	文化政策課	交流推進課	観光政策課
目的	鳥取県文化の世界への発信	中国交流地域との更なる交流促進	鳥取県への観光誘客・促進
ターゲット	中国国民・エージェント・現地バイヤー等	中国交流地域（吉林省・河北省）	中国国民・エージェント
実施内容	本県の文化を中心とした様々な情報発信イベントを実施することで、日本の中の鳥取県を中国の人々に強く印象づける	・中国2地域（吉林省、河北省）との合同ステージの開催 ・鳥取県の中国交流に関するパネルの展示	・国際マンガサミット開催地内定をふまえたPR ・鳥取県への誘客につながる観光情報の提供 ・山陰海岸ジオパークのPR

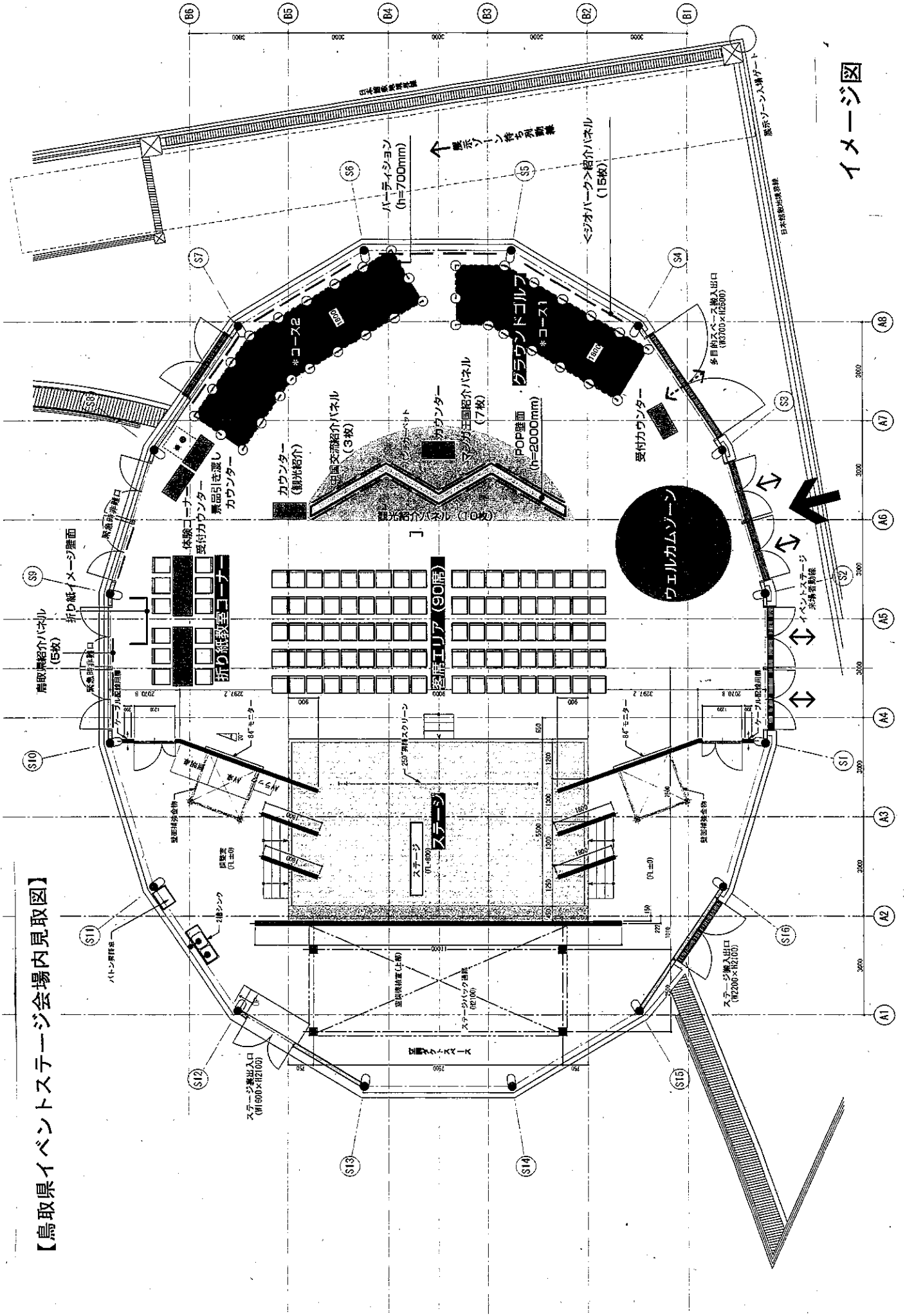
- (2) その他関連事業
  - 観光政策課：「2010年上海万博大阪出展と連携した鳥取県観光PR事業」  
→大阪館での関西圏自治体との合同展示の実施
  - 商工労働部：「上海物産展・商談会開催事業」  
→上海市内別会場において、物産展・商談会等を開催  
（平成22年8月19日（木）～25日（水））

## 上海万博における鳥取県展示一覧

場所	区分	項目	内容
日本館	ステージイベント	フレアカクテルショー	前田兄弟の圧巻なフレアカクテルショーをステージ上で繰り広げる【中国人好みの派手で色彩豊かなショーで上海を魅了する】
		クイズゲーム大会	中国でも人気の「鬼太郎」と鳥取のゆるキャラ「トリピー」がゲームで対決、国際マンガサミット開催候補地の鳥取県の姿を、ゲームを通して来場者に強くアピールする
		倉農太鼓	倉吉農業高校太鼓部による太鼓の演奏を披露【天女が天に帰るとき、地上に残された子供たちが悲しんで笛を吹き、太鼓をたたいたという倉吉の打吹に伝わる打吹天女伝説を根拠にした演奏】
		鳥取しゃんしゃん傘踊り	日本国内でも珍しい独自の伝統芸能である傘踊りをしゃんしゃん鈴音大使が披露
		鳥取県交流地域伝統芸能団体	鳥取県が交流を行っている吉林省及び河北省から民族楽団をイベントステージに招待し、鳥取県と中国の文化交流をアピールする【吉林省・河北省各1団体参加】
	展示コーナー	EV事業	鳥取県内におけるEV事業の先駆的取り組みの紹介(予定)
		パネル	鳥取県の観光や産業等をPRする常設のパネル展示コーナーで、鳥取県をもっと知ってもらおうとともに鳥取県に行ってみたいと思えるようなパネルを展示・紹介する【まんが王国・山陰海岸ジオパーク・遠山正瑛氏の実績の検証・鳥取県の観光情報・鳥取県の産業情報・中国内交流地域】
		バナー	会場内にバナーを設置 ・大型バナー(2ヶ所)→<会場入口正面>ウエルカムバナーで鳥取県の代表的な観光地と会場レイアウトを案内 <会場奥>鳥取県の観光と産業を紹介 ・縦型バナー(3ヶ所)→展示・体験内容を案内する縦型バナーを各コーナー上部に配置
	体験コーナー	マンガ王国クイズラリー	アジアでも人気がある「水木しげる」「青山剛昌」の二人の漫画家のふるさとである鳥取県を強く印象づけるため、パネル展示とあわせ「ゲゲゲの鬼太郎」「名探偵コナン」にちなんだクイズをラリー形式で行い、正解者にはキャラクター入りの景品をプレゼントする(100名×5回)
		グラウンドゴルフ大会	鳥取県が発祥の地であるグラウンドゴルフは高齢者から子どもまで簡単に遊ぶことができ健康増進にも役立つスポーツ これを1グループ5名程度で実際に体験してもらう(5名×10組×6回)
		和紙折り紙教室	日本の伝統的な遊びの折り紙を、鳥取県の名産である因州和紙を用いて体験してもらい、また、自分で折った折り紙を持ち帰ることで、好印象として鳥取を記憶に残してもらう(30名×6回)
	その他	着ぐるみによる握手・記念撮影	人気キャラクター「トリピー」「ゲゲゲの鬼太郎」が同時に登場し、握手や記念撮影で来場者を歓迎する

場所	区分	内容
大阪館	本県独自の観光PR	<p>【期間】:平成22年8月16日～8月22日の7日間 ※日本館における鳥取県イベントステージ(8/19～22)と連携</p> <p>【場所】:大阪館「関西ギャラリー」 面積5m×3.5m</p> <p>【方法】:①山陰海岸ジオパーク、まんが王国鳥取に関する模型やパネルの展示によるPR ②観光PR用DVDの放映(中国語版) ③観光PR用パンフやチラシの配布(中国語版)</p>
	関西府県市連携によるPR	<p>【期間】:平成22年5月1日～10月31日 (博覧会会期を通じての常設展示)</p> <p>【場所】:大阪館第3エリアB「関西都市魅力コーナー」(面積:約40㎡)</p> <p>【展示内容】:関西府県全体で一体的なPR素材を作成(露出も均等)し、壁面に展示。 ①3つのディスプレイ(観る・食べる・遊ぶ)の入った大型パネルを設置し、自然・食の画像を展開(9m×5.4m程度) ②各府県市への交通アクセス紹介図(2.1m×1.5m程度) ③上海と関西府県の位置関係図(2.1m×3.0m程度)</p>

【鳥取県イベントステージ会場内見取図】



イメージ図

## 第15回北東アジア地域国際交流・協力地方政府サミットの結果

平成22年6月1日  
交流推進課・経済通商総室通商物流室

5月25日(火)に韓国江原道で開催された「第15回北東アジア地域国際交流・協力地方政府サミット」本会議及び各地域との会談等の概要は以下のとおりでした。

### 1 会議概要

#### (1) 本会議

- ア 日時 5月25日(火) 午前9時10分～午後0時40分  
イ 場所 竜平リゾート(江原道平昌郡)

#### (2) 地域間会談

- ア 日時 5月25日(火) 午後5時40分～7時20分  
イ 場所 竜平リゾート(江原道平昌郡)

#### (3) 海運航路活性化推進協議会覚書署名式

- ア 日時 5月25日(火) 午後7時20分～7時30分  
イ 場所 竜平リゾート(江原道平昌郡)

### 2 参加者

- |      |                  |    |
|------|------------------|----|
| 鳥取県  | 平井伸治(ひらいしんじ) 知事  |    |
| 江原道  | 金振銓(キム・ジンソン) 知事  |    |
| 吉林省  | 王儒林(ワン・ルウリン) 省長  |    |
| 沿海地方 | ダリキン・セルゲイ 知事     |    |
| 中央県  | ツェデブドルジ・エンフバト 知事 | ほか |

### 3 結果等

- 北東アジア地域国際交流・協力地方政府サミットが韓国江原道において友好的な雰囲気の下で開催され、各地域の代表は、これまでのサミットの果たしてきた役割を十分評価した上で、各地域がリーダーシップを発揮して、環境・経済などの分野で更に連携協力することで一致した。
- 平井知事は、サミット参加5地域がこれまで積み上げてきた強固な信頼関係をもとに一致団結し、現在世界が直面する環境問題や金融危機等を乗り越えるとともに、経済分野での連携・協力を深め、環日本海定期貨客船の活用による人的・物的交流のさらなる促進を呼びかけた。
- また、GTI(広域図們江開発計画)に環日本海定期貨客船航路を組み込むよう表明するとともに、各地域への協力を求めた。
- 共同宣言文には、「北東アジア貿易・観光情報センター」の設立に対する支持が盛り込まれたほか、「山陰海岸の世界ジオパークネットワークへの加盟」及び「2012国際マンガサミット開催」への支援も盛り込まれた。
- 2地域間会談は、江原道、吉林省、中央県と今後とも友好交流を推進していくことで一致した。特に江原道の金知事からは、自身の退任後も引き続き両県道の交流を発展させて欲しいとの発言があり、平井知事もこれまでの金知事の功績を称えとともに、一層の交流推進を約束した。
- 平井知事と江原道の金知事、沿海地方のダリキン知事の3地域知事が「鳥取県・江原道・沿海地方定期航路発展に関する覚書」に署名し、「海運航路活性化推進協議会」を設置して人的・物的交流の拡大及び航路の発展に共同で取り組むことを確認した。
- 6月30日に勇退される江原道の金知事に対して、平井知事並びに他地域から、北東アジア地域の発展における多大な功績への惜しみない賞賛が贈られた。



## 第15回北東アジア地域国際交流・協力地方政府サミット共同宣言文

2010年5月25日、大韓民国江原道で開催された第15回「北東アジア地域国際交流・協力地方政府サミット」において、日本国鳥取県 知事平井伸治、中華人民共和国吉林省長 王儒林、ロシア連邦沿海地方知事 セルゲイ・ダリキン、モンゴル国中央県知事 ツェデヴドルジ・エンフバト、大韓民国江原道知事 金振統は、これまでの各地方政府間の相互協力及び友好関係に基づき、地域の共同繁栄のため幅広い意見を交換し、次の事項に合意した。

1. 各会員政府は、実質的な経済協力の拡大と全世界的に提起されている国際的な経済危機に共同で対処する方案の準備に積極的に協力する。また、土壌復旧、世界的な淡水の保全、砂漠化の防止、海洋生物資源の保護、並びに海洋ゴミ減少対策など環境保護問題と関連する情報を共有するとともに、共同で対処する方策の準備に積極的に協力する。
2. 会員地方政府は北東アジア地方政府サミットの実質的な交流協力を強化するための『共同宣言文合意事項実行協議会』を設置し、実行協議会の構成及び業務内容については、別途定める合意書に規定する。
3. 会員地方政府は既存航路に関する諸問題解決と貿易投資の拡大、経済団体間交流の定例化、相互優待政策の付与など実質的な交流拡大のために共同努力するとともに、次の事項を積極的に支持する。
  - ① 北東アジアの交通・物流、交易、観光分野等の拠点育成のための江原道の東海自由貿易地区指定の推進
  - ② 航路活性化のための貨物量確保、観光客の集客、企業情報の収集及び相互共有などのための鳥取県の北東アジア貿易観光情報センターの設立
4. 会員地方政府は各地域で開催される国際的な行事を積極的に支援し協調することとする。したがって、江原道における2018平昌冬季オリンピック、吉林省における第7回北東アジア投資貿易博覧会、鳥取県における山陰海岸の世界ジオパークネットワークへの加盟と2012国際マンガサミット開催、沿海地方における太平洋経済会議、2012年APEC首脳会談及びアジア太平洋地域国際映画祭「パシフィックメロディアン」開催、中央県におけるナードム祝祭の世界的な観光商品化の推進について、各会員地方政府が国際社会において地域の価値と力量を高めることに共同努力する。
5. 会員地方政府は今後、北東アジア地方政府サミットの5つの付帯行事の進行を現在の行政主導から民間団体の参加範囲を漸進的に拡大し、より実のある行事となるよう積極的に協力していく。
6. 2011年第16回地方政府サミットは、中華人民共和国吉林省で開催することとする。

この宣言文は、日本語、韓国語、中国語、ロシア語、モンゴル語で作成し、各地方政府で1部ずつ保管し、各言語別の効力は同一であるものとする。

2010年5月25日

日本国鳥取県知事

中華人民共和国吉林省長

ロシア連邦沿海地方知事

モンゴル国中央県知事

大韓民国江原道知事

## 鳥取県・江原道・沿海地方定期航路発展に関する覚書

鳥取県、江原道、沿海地方の地方政府は、互恵的協力の発展のため、2009年7月にDBSクルーズフェリーにより開設された「境港－東海－ウラジオストク間定期貨客船航路」の重要な役割について共に確認し、本海運航路の活性化により地域発展を促進させるため地方政府間の協力体制を強化するなど共同努力を傾けるため次の事項につき確認する。

1. 「鳥取県・江原道・沿海地方海運航路」を利用した地方政府間の観光、貿易、文化、スポーツなど全ての分野に渡る人的・物的交流を積極的に拡大し、「本海運航路」の安定的な発展のため多者間協力体を構成する。
2. 多者間協力体の公式名称は「鳥取県・江原道・沿海地方海運航路活性化推進協議会」（以下「推進協議会」という。）とする。
3. 各地域別の推進協議会総括部署は江原道環東海出張所、鳥取県商工労働部、沿海地方産業交通局とし、総括部署では各地方政府「知事」の命を受け推進協議会を構成・運営し、海運航路活性化対策を樹立推進する。
4. 推進協議会の会員は、会長（総括部署の長）と副会長、国際海運航路を専担する1名、国際協力1名、観光マーケティング1名、農産物・工業製品・水産物輸出入支援3名、広報1名、行政支援1名、民間協力3名など7つの分野別の関連部署長又はチーム長級で構成する。
5. 推進協議会の実践的活性化のために年1回定期会議を開催し、順序は鳥取県、江原道、沿海地方の順に巡回開催する。定期会議は開催地地方政府の推進協議会会長が主催し会議の開催経費を負担する。
6. 各地方政府の推進協議会会長の要請により臨時会議または各分野別に会議を開催することができ、この場合の開催地は会議を要請した地方政府とし、定期会議の巡回開催の順番に算入しない。
7. 推進協議会で推進する内容は次のとおりである。
  - ・クルーズフェリーの寄港条件及び通関手続きの簡素化など受入態勢の改善
  - ・観光・物流・貿易（輸出入品や企業）に関する情報の交換及び共有
  - ・観光客集客・ポートセールス・博覧会・展示会・広報など共同マーケティングの展開
  - ・文化・芸術・スポーツ・教育分野の国際交流など政策的な需要創出
  - ・国際海運航路を利用する旅行会社、観光客、企業等に対するインセンティブ発掘・推進
  - ・海運航路の安定的な運営のための行政及び財政支援
  - ・本海運航路がTSRと連携できるよう貨物確保及び各種制約要素の解決案の準備
8. 推進協議会運営に伴う多者間、二者間の随時情報交流に必要な協力窓口は各地方政府別の総括部署とし、各地方政府は要請を受けた事案について信義誠実の原則に立脚して積極的に協力する。

2010年5月25日

日本国鳥取県知事

ロシア連邦沿海地方知事

大韓民国江原道知事